

令和3年度  
事業計画書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和3年2月27日

公益社団法人 日本網引連盟

## 令和3年度事業計画書

### 方針

今年度も財政立て直しを最重要課題とする。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全ての主催大会が中止となったことにより、選手登録・審判登録が減少したが、今年度は、安心安全な大会開催を目標とすることで登録数増加を目指す。また、綱引競技の持つ魅力を多方面にアピールし、普及啓発活動を行いつつ国体公開競技参加と合わせて、競技人口の拡大、特にジュニア・ユース層の拡大を目指す。

### 目標

#### 1. 財政確立

より多くの法人、個人に支援を要請し、各事業の経済性や合理性の見直し、経費の節約を適切に行い、自主財源の確保に努める。この際、綱引き関係者は一丸となって、各種コンプライアンス(法令遵守)に努める。

##### ①公式サポーター制度による寄付金募集事業の展開

公式サポーターの募集により、一般と法人からの支援を受けて、事業に活用する。

同時に寄付金控除のメリットを活かし大口スポンサーの開拓につなげる。

##### ②購買

綱引競技必携・液体チョークの販売強化

##### ③各登録料の納付期限厳守

競技者・審判員登録料、正会員費、加盟分担金の納付期限厳守を求めていく。

#### 2. 選手強化

日本スポーツ振興センター(以下 JSC)助成金により、2022年世界大会に日本代表チームが出場し、前回大会より上位進出を図る。

#### 3. ジュニアユース発掘・指導者育成

JSC 基金助成金により、ジュニアユース大会を開催し、ジュニアユース層の掘り起こしを図る。また、競技の普及を図るため、都道府県連の関係者に対して公認スポーツ指導者講習会への参加を促す。

#### 4. 医科学分野

大会開催に向け、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す。

選手強化と個々のコンディショニング管理を進め、チーム強化を図る。

#### 5. アンチ・ドーピング活動

全日本綱引選手権大会を対象にアンチ・ドーピング講習会を行い、理解を深める。

## 公益目的事業(公1) 綱引の普及啓蒙事業

### 1. 国内外競技会の開催

令和3年度主な競技会日程

月 日	競 技 会	会 場	備考
8月(予定)	2021全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会	京都島津アリーナ(予定)	主催
8月28・29日	三重国体 公開競技	マツヤマSSKアリーナ(名張市)	〃
令和4年 3月12・13日	2022全日本綱引選手権大会	駒沢オリンピック公園総合運動場	〃
未定	世界インドア綱引選手権大会	シンガポール	

#### ① 協力体制の強化

今年度は全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会が京都での開催のため、連盟が一体となると共に協力体制を強化していく。

#### ② 新規公認審判員の認定

新規 A 審判員育成と AA 審判員へのスキルアップを図る。

#### ③ 公認スポーツ指導者育成講習会

チーム指導者、競技者等を対象に、講習会を開催、情報の共有化と綱引指導者のネットワークを広げていく。尚、この講習会は(公財)日本スポーツ協会の委託事業である。

#### ④ 中央研修会の開催。

審判員、指導者、競技者を対象に競技規則の共通認識と審判技術の向上、競技者への理解促進を図る研修会を、技術審判委員会を主体として開催する。

#### ⑤ AAA 審判員認定講習会及びスキルアップ研修会

新規 AAA 審判員認定講習会の開催と AAA 審判員を対象に技術の更なる向上と組織拡充策を練る研修会を実施する。

#### ⑥ アンチ・ドーピング教育

全日本綱引選手権大会出場チームに対して、アンチ・ドーピング講習を実施する。

**【予定】**

令和3年度研修会等予定

8月(予定)	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅰ	未定
10月(予定)	中央研修会	未定
10月(予定)	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅱ	未定
12月(予定)	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅲ	未定
令和4年 3月12・13日	アンチ・ドーピング講習会	駒沢体育館

以上